

2021年12月期 第3四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned above the letter 'C'.

AGC株式会社

2021年11月1日

Your Dreams, Our Challenge

■ 2021年12月期 第3四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.5
2. セグメント別・地域別の状況	P.12
■ 2021年通期業績見通し	P.20
付属資料	P.26

2021年12月期 第3四半期業績

2021年12月期第3四半期（累計）：

（前年同期比）

売上高	12,335 億円	(+2,207億円)
営業利益	1,484 億円	(+1,078億円)

2021年12月期通期見通し：

（従来予想比）

（前年同期比）

売上高	16,900 億円	(+200億円)	(+2,777億円)
営業利益	2,000 億円	(+200億円)	(+1,242億円)

- ・第3四半期業績が想定を上回ったことに加え、塩化ビニル樹脂の市況が高い水準で推移する見込みであることから、再度上方修正

1. 業績のポイントと主要項目

2021年12月期 第3四半期業績

(億円)

	FY2020 1-3Q累計	FY2021 1-3Q累計	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高	10,128	12,335	+ 2,207*	(+) 建築用ガラス、自動車用ガラス、 ライフサイエンス製品、半導体関連製品の出荷増加 (+) 東南アジアにおける塩化ビニル樹脂、建築用ガラスの販売価格上昇 (+) ユーロ高
営業利益	406	1,484	+ 1,078	上記に加え、 (+) ガラス製造設備の稼働率改善に伴う製造原価低減 (-) 欧州における天然ガス価格上昇 (-) 液晶用ガラス基板や半導体関連製品の新規設備立ち上げ等に 伴う減価償却費増加 (-) 為替の影響によるディスプレイ製造原価上昇
税引前利益	260	1,851	+ 1,591	上記に加え、 (+) 北米建築用ガラス事業譲渡益などを計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	135	1,294	+ 1,159	
為替レート (期中平均)				
JPY/USD	107.59	108.50		
JPY/EUR	120.90	129.83		
原油(Dubai,期中平均)				
USD/BBL	41.40	66.19		

* うち、為替差影響は+318億円、連結範囲変更の影響は+23億円

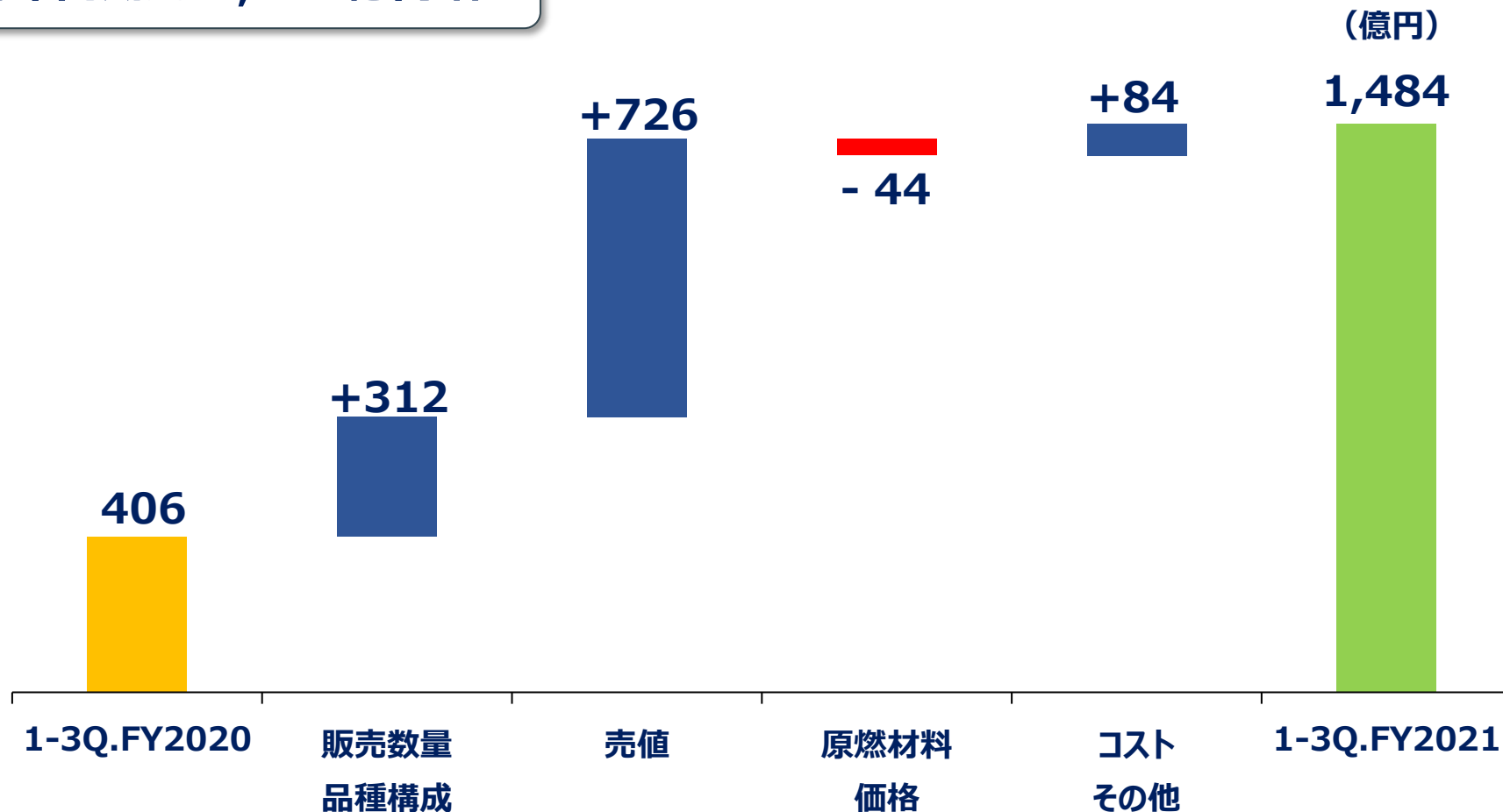
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2020 1-3Q累計 (a)		FY2021 1-3Q累計 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	ガラス	4,659	▲ 219	5,447	253	+ 788
電子	2,101	272	2,231	245	+ 130	▲ 28
化学品	3,216	325	4,508	960	+ 1,292	+ 635
セラミックス・その他	577	29	561	28	▲ 16	▲ 1
消去	▲ 424	▲ 1	▲ 411	▲ 2	+ 13	▲ 1
連結合計	10,128	406	12,335	1,484	+ 2,207	+ 1,078

営業利益増減要因分析(1-3Q.FY2021 vs. 1-3Q.FY2020)

前年同期比 1,078億円増益



(億円)

	2020/12	2021/9	増減
現金及び現金同等物	2,361	2,519	+ 158
棚卸資産	2,748	3,149	+ 400
有形固定資産・無形 資産及びのれん	14,376	14,938	+ 562
その他	5,859	6,306	+ 447
資産合計	25,345	26,911	+ 1,567
有利子負債	7,880	7,181	▲ 699
その他	5,035	5,340	+ 305
負債の部	12,914	12,521	▲ 394
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,151	12,868	+ 1,717
非支配持分	1,279	1,523	+ 244
資本の部	12,430	14,391	+ 1,960
負債及び資本合計	25,345	26,911	+ 1,567
D/E比率	0.63	0.50	

為替差影響
+756億円

連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	1-3Q累計	
	FY2020	FY2021
税引前利益	260	1,851
減価償却費及び償却費	1,072	1,219
運転資金増減	34	▲ 306
その他	186	▲ 409
営業活動によるCF	1,552	2,354
投資活動によるCF	▲ 1,736	▲ 953
フリーキャッシュフロー	▲ 184	1,401
有利子負債増減	2,507	▲ 915
支払配当	▲ 266	▲ 310
その他	▲ 27	▲ 54
財務活動によるCF	2,214	▲ 1,280
現金等に係る換算差額	▲ 54	37
現金等の増加額	1,977	158

(億円)

1-3Q累計
FY2020 **FY2021**

設備投資額	1,620	1,511
ガラス	424	364
電子	522	492
化学品	663	644
セラミックス・その他	11	15
消去	▲ 1	▲ 3
減価償却費	1,072	1,219
ガラス	385	403
電子	356	442
化学品	316	359
セラミックス・その他	15	15
消去	▲ 1	▲ 1
研究開発費	336	361

【主な設備投資案件】

- ・ディスプレイ中国G11投資（電子）
- ・ディスプレイ製造窯修繕（電子）
- ・半導体関連製品製造設備増強（電子）
- ・フッ素関連製品能力増強（化学品）
- ・遺伝子治療薬工場買収（化学品）
- ・東南アジア塩ビ能力増強（化学品）
- ・バイオ医薬品能力増強（化学品）

など

【主な減価償却費増加要因】

- ・半導体関連製品製造設備増強（電子）
- ・ディスプレイ中国G11投資（電子）

など

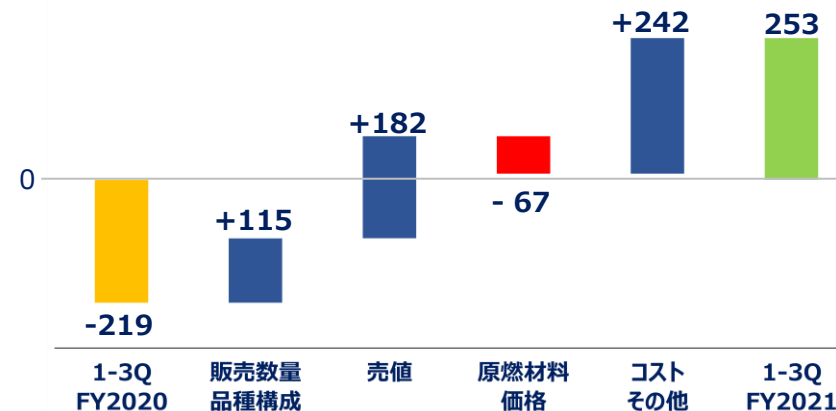
2. セグメント別・地域別の状況

(億円)

	1-3Q累計		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	4,659	5,447	+ 788*
建築用ガラス	2,348	2,799	+ 452
自動車用ガラス	2,293	2,630	+ 338
(セグメント間)	19	17	
営業利益	▲ 219	253	+ 472

* うち、為替差影響は+211億円、連結範囲変更の影響は+0.4億円

営業利益増減要因分析



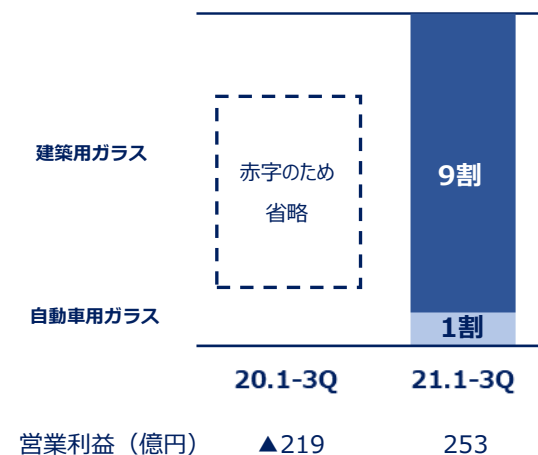
〔建築用ガラス〕

- ・ 欧州・インドネシアを中心に出荷が増加
- ・ 欧州・南米での販売価格が大幅に上昇
- ・ 欧州を中心に製造設備の稼働率が向上し、製造原価が低減
- ・ 欧州の天然ガス価格が上昇

〔自動車用ガラス〕

- ・ 半導体を含む部品供給不足の影響を受けたものの、全ての地域で出荷が増加
- ・ 日ア、欧州を中心に製造設備の稼働率が向上し、製造原価が低減

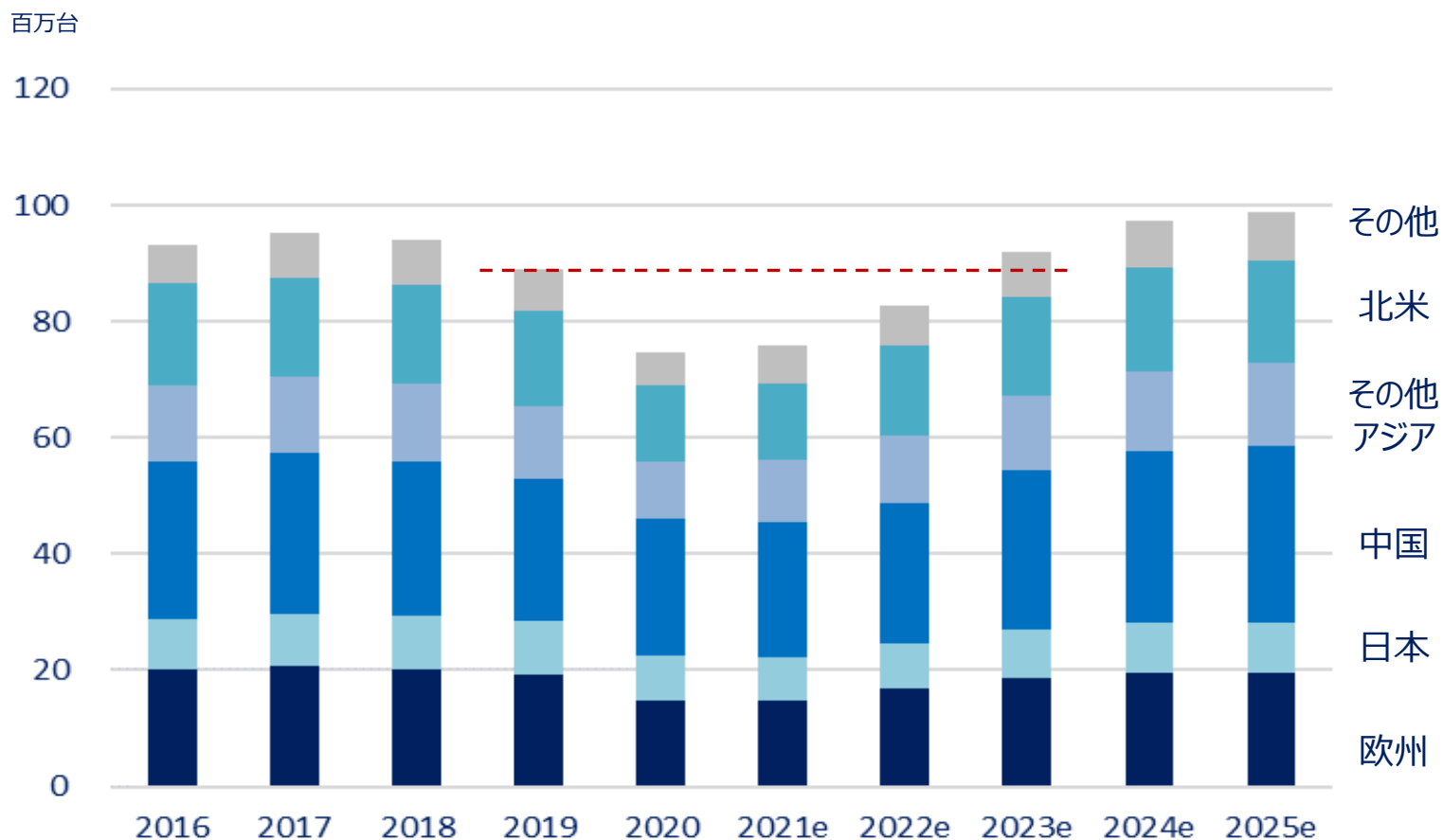
営業利益構成比 (共通費配賦前)



(ご参考) 自動車用ガラス事業需要推移

- 半導体不足の影響が継続
- 自動車用ガラスの需要が19年レベルに戻るのには2023年の見通し

自動車生産台数推移（地域別）*

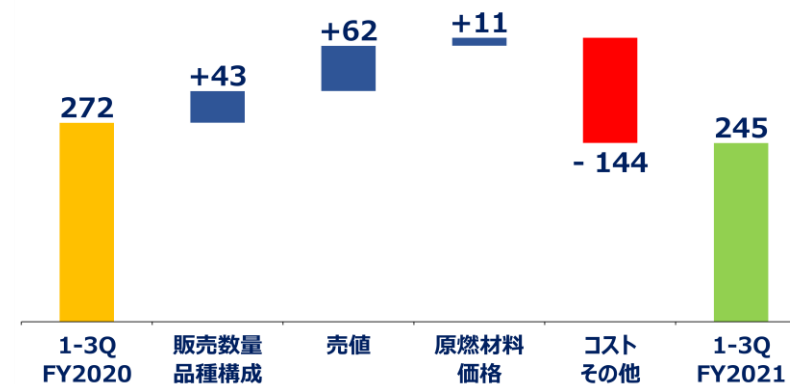


(億円)

	1-3Q累計		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	2,101	2,231	+ 130*
ディスプレイ	1,314	1,363	+ 49
電子部材	742	805	+ 63
(セグメント間)	45	63	
営業利益	272	245	▲ 28

* うち、為替差影響は+22億円、連結範囲変更の影響はなし

営業利益増減要因分析



〔ディスプレイ〕

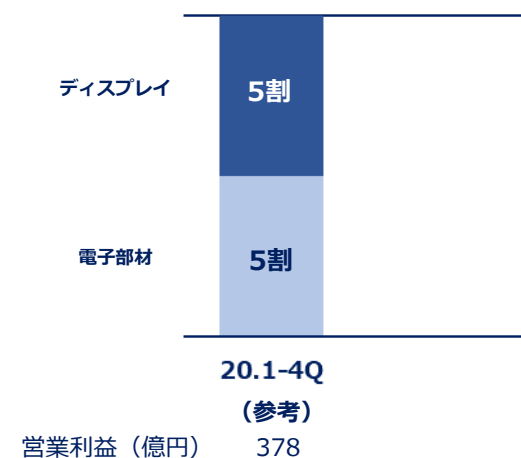
- ・ 液晶用ガラス基板の出荷は前年同期並み、ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は増加
- ・ 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加
- ・ 為替の影響による製造原価上昇

〔電子部材〕

- ・ EUVマスク blanks等の半導体関連製品およびオプトエレクトロニクス用部材の出荷が堅調に推移
- ・ プリント基板材料は米中貿易摩擦の影響などにより出荷が減少
- ・ 半導体関連製品の新規設備立ち上げなどにより、減価償却費が増加

営業利益構成比 (共通費配賦前)

季節性を含め変動が大きいため、年間で内訳を開示

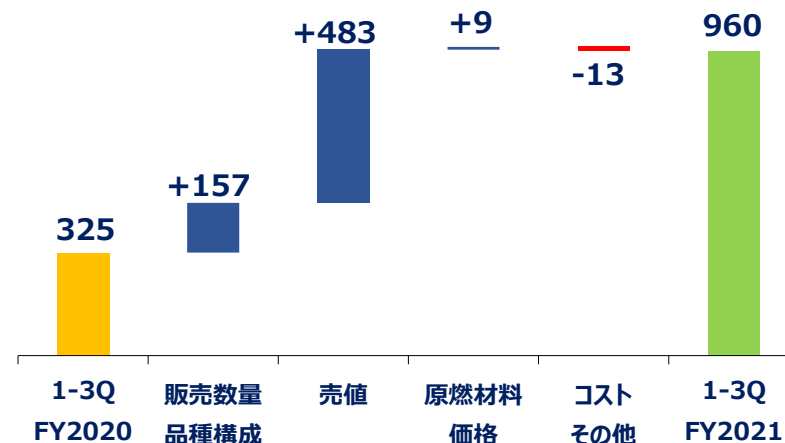


(億円)

	1-3Q累計		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	3,216	4,508	+ 1,292*
クロールアルカリ・ウレタン	1,886	2,792	+ 906
フッ素・スペシャリティ	779	896	+ 118
ライフサイエンス	539	809	+ 270
(セグメント間)	11	10	
営業利益	325	960	+ 635

* うち、為替差影響は+78億円、連結範囲変更の影響は+23億円

営業利益増減要因分析



〔クロールアルカリ・ウレタン〕

- ・ 東南アジアで塩化ビニル樹脂の販売価格が上昇

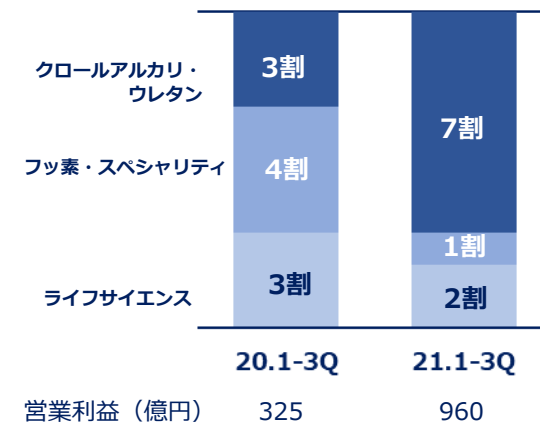
〔フッ素・スペシャリティ〕

- ・ 自動車向けフッ素関連製品などの出荷は回復基調が継続
- ・ 航空機向けフッ素関連製品の出荷は3Qより回復基調に反転

〔ライフサイエンス〕

- ・ 合成医農薬は受託件数が増加
- ・ バイオ医薬品は新型コロナウイルス関連の案件も加わり、受託件数が増加

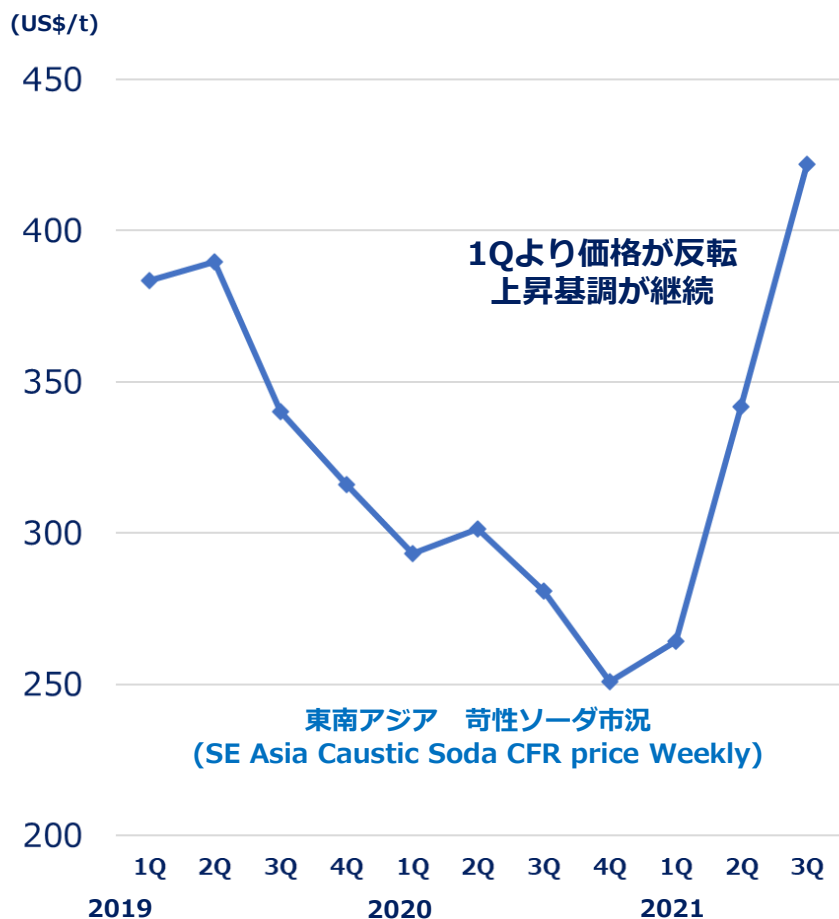
営業利益構成比 (共通費配賦前)



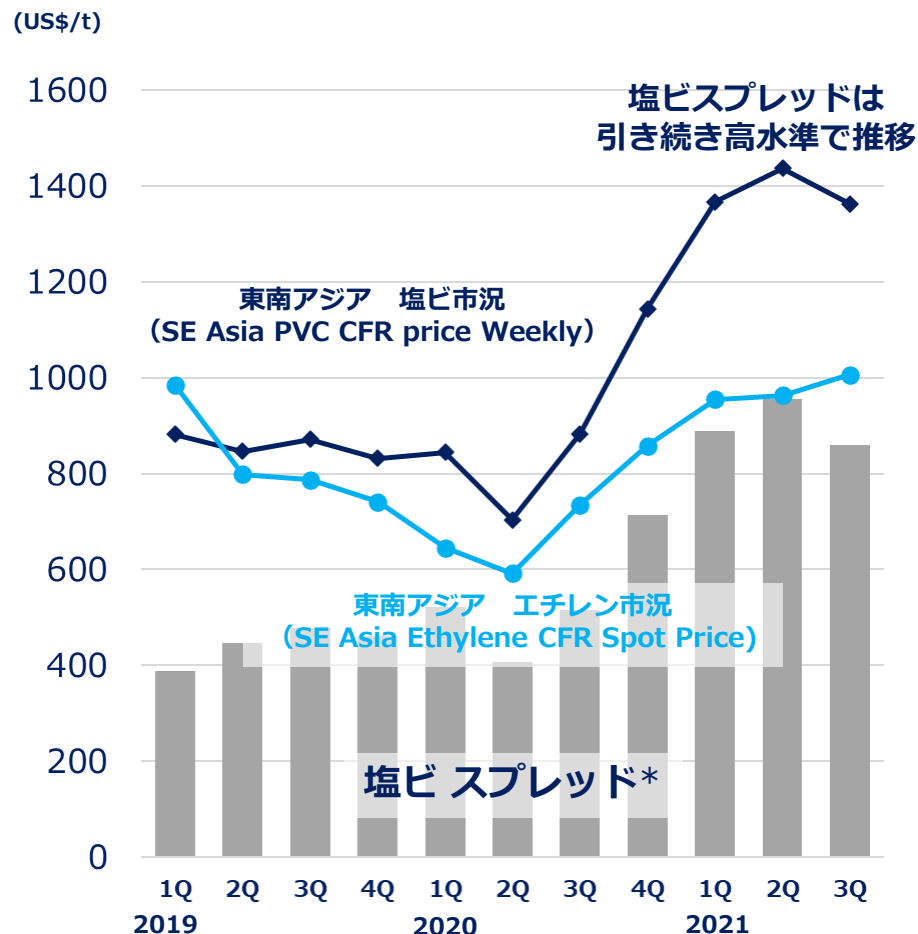
(ご参考) 東南アジア 苛性ソーダ、塩ビ市況

- 苛性ソーダ市況は、需給バランスの更なるタイト化により上昇基調が継続
- 塩ビ市況は、需給バランスタイトな状況が継続し、引き続き高水準で推移

苛性ソーダ市況

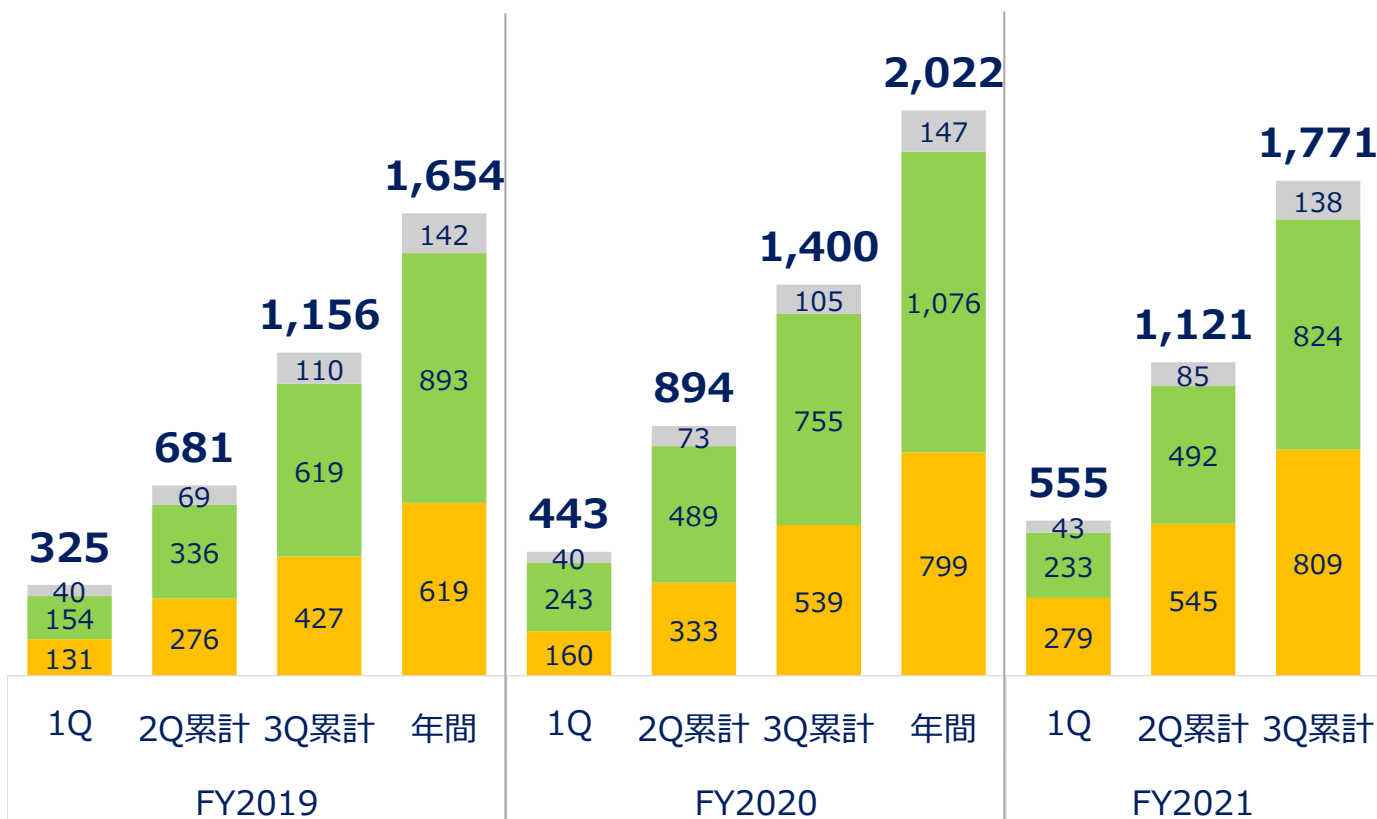


塩ビ市況



■ ライフサイエンス、エレクトロニクスを中心に順調に推移

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

- モビリティ**
 - ・車載ディスプレイ用カバーガラス
 - ・モビリティ新規部材(含5G通信)
- エレクトロニクス**
 - ・半導体関連部材
 - ・オプトエレクトロニクス用部材
 - ・次世代高速通信用部材
 - ・エレクトロニクス用フッ素製品
- ライフサイエンス**
 - ・合成医薬
 - ・バイオ医薬

戦略事業 営業利益	53	104	222	331	93	177	296	444	113	196	346
--------------	----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(億円)

	1-3Q累計		(億円)
	FY2020	FY2021	増減
売上高	10,128	12,335	+ 2,207
日本・アジア	6,771	8,118	+ 1,347
アメリカ	1,110	1,316	+ 206
ヨーロッパ	2,247	2,901	+ 654
営業利益	406	1,484	+ 1,078
日本・アジア	661	1,351	+ 690
アメリカ	6	99	+ 93
ヨーロッパ	4	321	+ 317
地域共通費用	▲ 265	▲ 287	▲ 22

2021年 通期業績の見通し

- コロナ禍で落ち込んだ事業の業績が回復基調であることに加え、塩化ビニル樹脂の市況が高水準で推移することから大幅な増収増益を見込む

(億円)

	FY2020	FY2021 (8/2予想)	FY2021 (11/1予想)
売上高	14,123	16,700	16,900
営業利益	758	1,800	2,000
税引前利益	571	1,870	2,070
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	327	1,170	1,290
1株当たり配当 (円)	120	210	210 (普通配当160円) (特別配当50円)
営業利益率	5.4%	9.7%	11.8%
ROE	2.9%	7.4%	11.6%*
為替レート (期中平均)			
JPY/USD	106.8	108.6	109.9
JPY/EUR	121.8	129.5	130.5
原油 (Dubai,期中平均)			
USD/BBL	42.2	69.2	69.6
エチレン(CFR SEA)			
USD/MT	713	1,012	1,010

* FY2021予想のROEは、2020年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

セグメント別 業績見通し

(億円)

	FY2020		FY2021 通期予想(11/1予想)		増減		FY2021 通期予想(8/2予想)		増減	
	(a)		(b)		(b)-(a)		(c)		(b)-(c)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	6,510	▲ 166	7,200	300	+ 690	+ 466	7,400	350	▲ 200	▲ 50
電子	2,894	378	3,200	350	+ 306	▲ 28	3,200	330	+ 0	+ 20
化学品	4,512	505	6,200	1,330	+ 1,688	+ 825	5,800	1,100	+ 400	+ 230
セラミックス・その他	811	42	800	20	▲ 11	▲ 22	800	20	+ 0	+ 0
消去	▲ 603	▲ 1	▲ 500	0	+ 103	+ 1	▲ 500	0	+ 0	+ 0
連結合計	14,123	758	16,900	2,000	+ 2,777	+ 1,242	16,700	1,800	+ 200	+ 200

21年 4Q見通し

ガラス	<p>(建築用ガラス)</p> <ul style="list-style-type: none">・欧州を中心に良好な需給バランスが続き、堅調に推移・燃料価格上昇の影響が懸念される <p>(自動車用ガラス)</p> <ul style="list-style-type: none">・世界の自動車生産台数は引き続き半導体含む部品供給不足の影響を受ける・燃料価格上昇の影響が懸念される
電子	<p>(ディスプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none">・液晶ガラス基板およびディスプレイ用特殊ガラスの出荷は堅調に推移・液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加 <p>(電子部材)</p> <ul style="list-style-type: none">・半導体および半導体製造装置市場の拡大に伴い、半導体関連製品の出荷は増加・オプトエレクトロニクス用部材は需要好調が継続し、出荷は増加
化学品	<p>(クロールアルカリ・ウレタン)</p> <ul style="list-style-type: none">・塩化ビニル樹脂の市況は高水準で推移 <p>(フッ素・スペシャリティ)</p> <ul style="list-style-type: none">・自動車向け、航空機向けの需要が緩やかに回復 <p>(ライフサイエンス)</p> <ul style="list-style-type: none">・買収および設備投資による能力増強や新型コロナウイルス関連の受託もあり、堅調に推移

戦略事業領域の成長を加速

- 今年8月発表時点から変更なし
- 順調に業績拡大する見通し

主な製品・事業

モビリティ

- ・車載ディスプレイ用
カバーガラス
- ・モビリティ新規部材
(含5G通信)

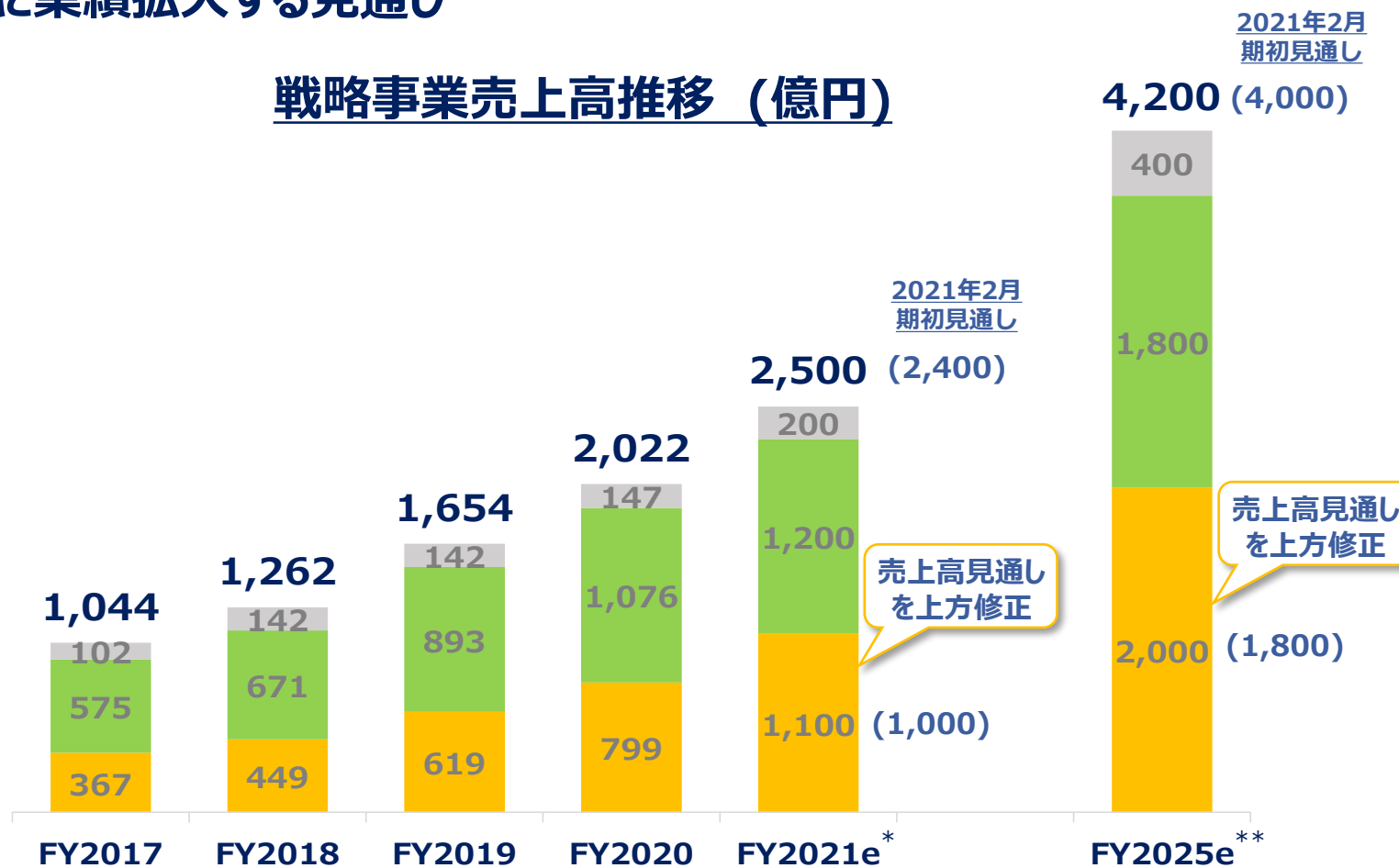
エレクトロニクス

- ・半導体関連部材
- ・オプトエレクトロニクス用部材
- ・次世代高速通信用部材
- ・エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- ・合成医薬
- ・バイオ医薬

戦略事業売上高推移 (億円)



戦略事業 営業利益

FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021e*	(500)	FY2025e**
142	244	331	444	550	(500)	1,000 (億円)

*2021年度戦略事業業績は2021年第1四半期発表時に上方修正

**2025年度戦略事業業績は2021年第2四半期発表時に上方修正

設備投資額・減価償却費・研究開発費

年間 (億円)

FY2020 FY2021e

	FY2020	FY2021e
設備投資額	2,413	2,200*
ガラス	641	480
電子	807	730
化学品	952	970
セラミックス・その他	15	20
消去	▲ 2	0
減価償却費	1,437	1,600
ガラス	510	500
電子	479	600
化学品	430	480
セラミックス・その他	19	20
消去	▲ 1	0
研究開発費	464	510**

【主な設備投資案件】

- ・ディスプレイ中国G11投資 (電子)
- ・ディスプレイ製造窯修繕 (電子)
- ・半導体関連製品製造設備増強 (電子)
- ・遺伝子治療薬工場買収(化学品)
- ・フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- ・東南アジア塩ビ能力増強(化学品)
- ・バイオ医薬品能力増強 (化学品)

など

*8/2に期初見通し2,000億円から変更(電子 680億円→730億円、化学品 820億円→970億円)

** 期初見通し550億円から変更

付属資料

リスク要因	営業利益に対するインパクト	補足
為替	1%円高で <u>2億円</u> *減益	*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の影響額
ドバイ原油	1バレルあたり1ドル上昇した場合、 <u>3億円</u> *減益	*オイルヘッジ影響除く
化学品 市況	①苛性ソーダ: 国際市況が\$ 1 下がると\$ <u>1 M</u> の減益 ②塩ビスプレッド: \$ 1 下がると\$ <u>1.2M</u> の減益*	*塩ビスプレッド: 塩ビ市況 - (エチレン市況×0.5)

セグメント別 ROCE・EBITDA（2020年度末）

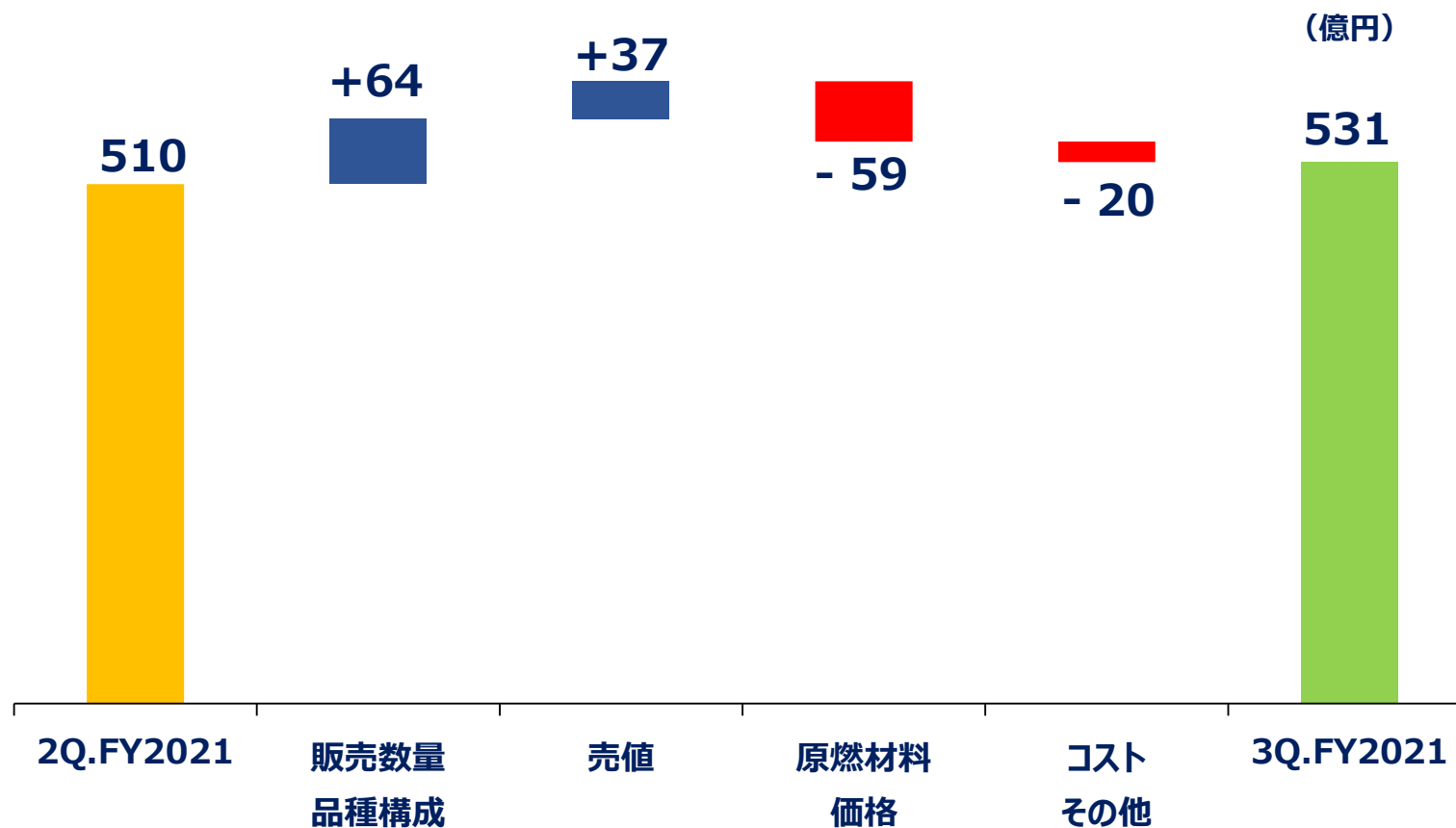
(億円)

	営業利益	EBITDA	ROCE※	営業資産
ガラス	▲ 166	344	-	6,400
電子	378	857	6.3%	6,000
化学品	505	935	8.9%	5,700
セラミックス・その他	42	62	14.1%	300
消去ほか	▲1	▲2	-	-
合計	758	2,195	4.1%	18,400

※ROCEは2020年末時点の営業資産を元に計算

営業利益増減要因分析(3Q.FY2021 vs. 2Q.FY2021)

前四半期比 21 億円増益



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	3 Q .FY2021	289	98	530	-	916
		3 Q .FY2020	279	121	440	-	840
	自動車ガラス	3 Q .FY2021	445	151	213	-	808
		3 Q .FY2020	455	168	246	-	869
		3 Q .FY2021	733	248	743	5	1,729
		3 Q .FY2020	734	290	686	7	1,717
電子		3 Q .FY2021	714	74	4	24	816
		3 Q .FY2020	643	60	2	10	715
化学品		3 Q .FY2021	1,331	98	194	3	1,626
		3 Q .FY2020	884	78	125	3	1,091
セラミックス・その他		3 Q .FY2021	82	-	-	111	194
		3 Q .FY2020	79	-	-	115	195
消去		3 Q .FY2021	-	-	-	▲ 143	▲ 143
		3 Q .FY2020	-	-	-	▲ 135	▲ 135
合計		3 Q .FY2021	2,861	421	940	-	4,222
		3 Q .FY2020	2,340	428	814	-	3,582

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	1-3Q.FY2021	855	378	1,566	-	2,799
		1-3Q.FY2020	822	318	1,207	-	2,348
	自動車ガラス	1-3Q.FY2021	1,448	449	734	-	2,630
		1-3Q.FY2020	1,251	396	646	-	2,293
		1-3Q.FY2021	2,303	827	2,300	17	5,447
		1-3Q.FY2020	2,073	714	1,853	19	4,659
電子	1-3Q.FY2021	1,968	191	9	63	2,231	
	1-3Q.FY2020	1,883	166	8	45	2,101	
化学品	1-3Q.FY2021	3,607	298	593	10	4,508	
	1-3Q.FY2020	2,588	231	386	11	3,216	
セラミックス・その他	1-3Q.FY2021	240	-	-	321	561	
	1-3Q.FY2020	227	-	-	350	577	
消去	1-3Q.FY2021	-	-	-	▲ 411	▲ 411	
	1-3Q.FY2020	-	-	-	▲ 424	▲ 424	
合計	1-3Q.FY2021	8,118	1,316	2,901	-	12,335	
	1-3Q.FY2020	6,771	1,110	2,247	-	10,128	

(億円)

ガラス	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21	3Q.21
売上高	1,840	1,837	1,693	1,249	1,717	1,851	1,806	1,912	1,729
建築用ガラス	875	905	801	706	840	901	891	991	916
自動車用ガラス	963	923	889	534	869	943	908	915	808
(セグメント間)	3	9	3	8	7	7	7	6	5
営業利益	23	▲ 4	▲ 26	▲ 182	▲ 12	53	97	106	50

電子	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21	3Q.21
売上高	761	760	692	693	715	792	710	705	816
ディスプレイ	449	460	433	433	448	458	461	429	474
電子部材	283	276	238	247	257	316	230	257	318
(セグメント間)	28	24	22	13	10	19	19	20	24
営業利益	109	87	89	85	99	106	86	54	105

化学品	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21	3Q.21
売上高	1,197	1,275	1,142	983	1,091	1,296	1,373	1,508	1,626
クローラルカリ・ウレタン	745	768	695	559	632	755	822	940	1030
フッ素・スペシャリティ	302	311	283	247	250	278	269	299	329
ライフサイエンス	147	193	160	173	207	260	279	265	265
(セグメント間)	4	3	4	5	3	3	3	4	3
営業利益	177	191	151	75	98	180	255	340	365

強み 1

市場構造の強み

- ・ 東南アジアの高い経済成長率を背景に、塩化ビニル樹脂の域内需要は年率5%*成長
- ・ 苛性ソーダと塩素両方の製品販売力が必要なため、域内他社による大型の電解設備増強計画なし
- ・ 原料（エチレン）価格上昇を塩化ビニル樹脂価格に反映できる市場

強み 2

圧倒的な市場ポジションと強固なお客様基盤

- ・ 苛性ソーダ、塩化ビニル樹脂とも東南アジアで50%以上のシェアを確保
- ・ 1960年代にタイ、1980年代にインドネシアに進出しており、確固とした販売網と物流網を構築
- ・ 域内最大の生産能力と高い生産技術による安定供給でお客様の信頼獲得

強み 3

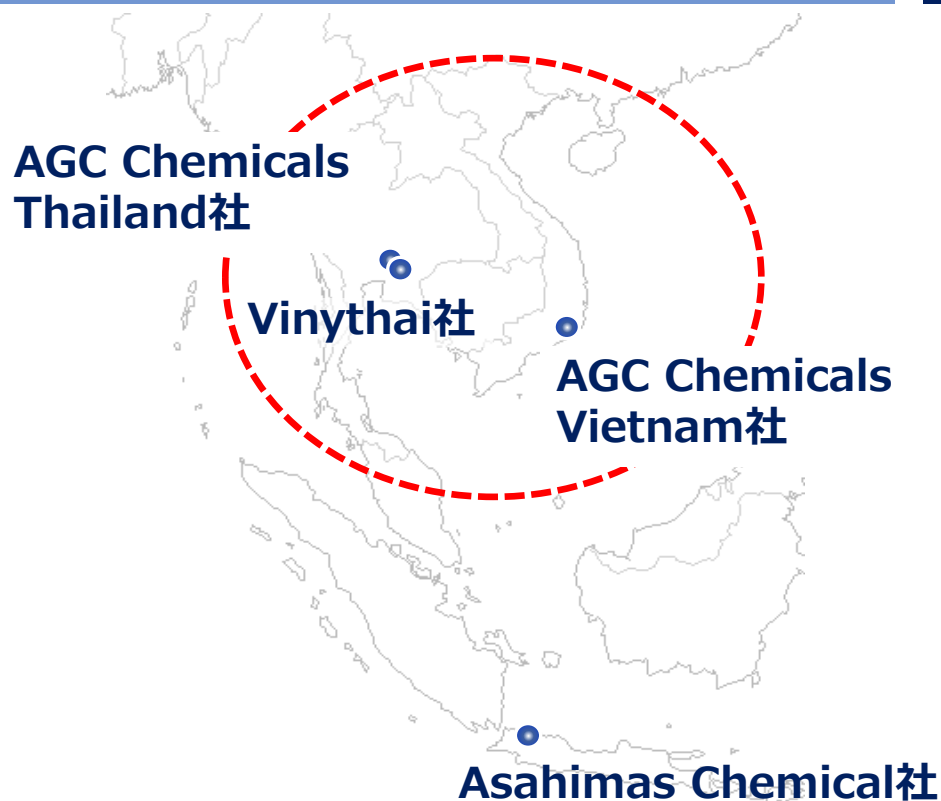
域内での競争優位性

- ・ 電解からPVCまでの一貫生産体制により蓄積してきたオペレーション技術による安定生産
- ・ インドネシア、タイ、ベトナムで域内最適生産が可能
- ・ タイの有力エチレンメーカーであるPTTGC社との連携を強化

中長期的に高い利益率を維持し、成長することが可能

- 東南アジアクロールアルカリ事業での高い市場ポジションをインドシナ3拠点の再編・統合により更に強化
- 高い市場ポジションで市場成長を取り込む

インドシナ3拠点の再編・統合

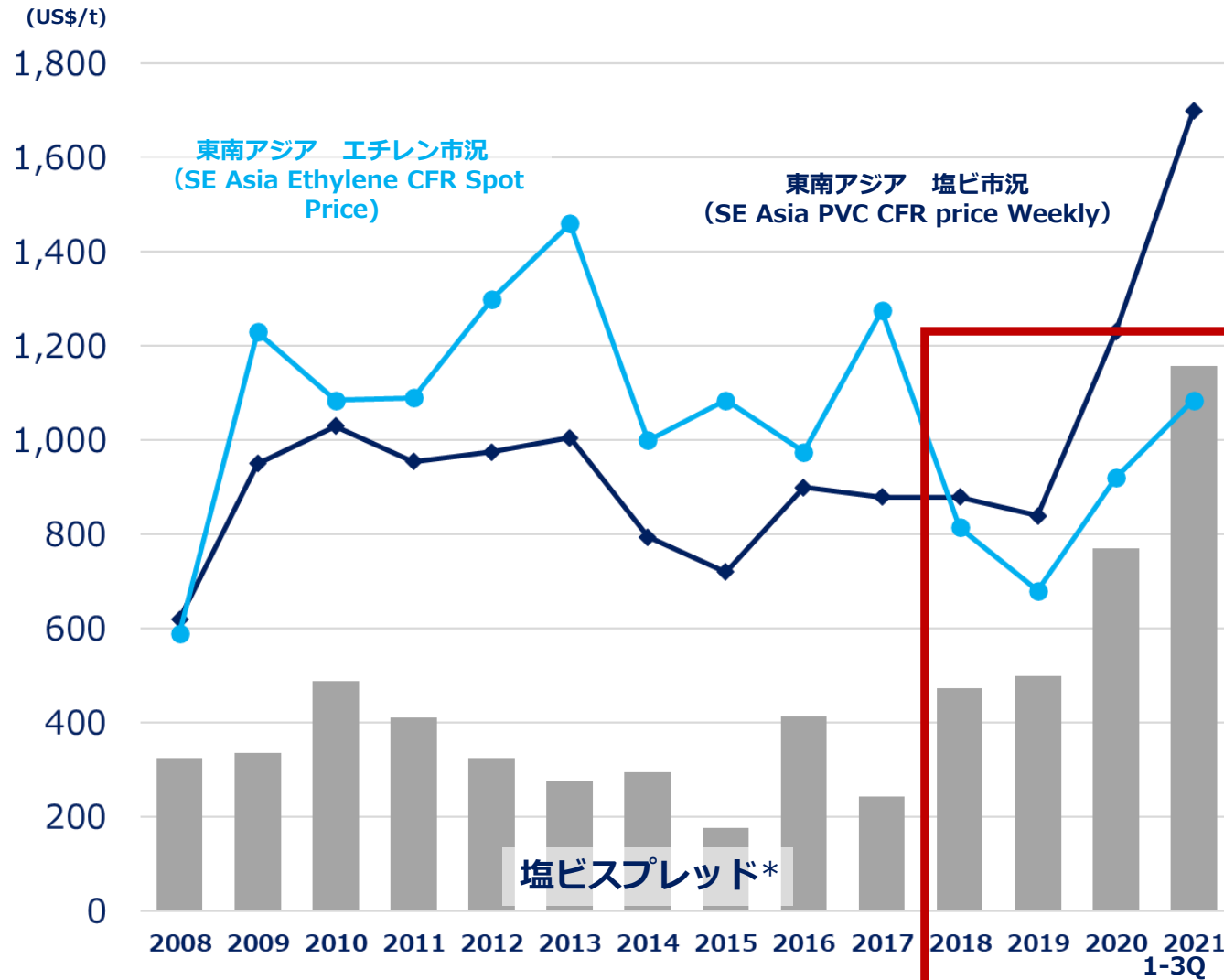


東南アジア生産能力ベースのシェア*



* 生産能力ベースシェア：苛性ソーダは域内に豪州/NZを含まず、塩ビは域内に豪州/NZを含む

■ 塩ビスプレッドは2018年以降拡大し、足下は高水準で推移



数量・価格動向

				2020				2021				
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
前年同四半期比 (YoY)												
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	-数%	-1割弱	+1桁半ば	+数%	+1割	+1割強	-1桁半ば		
			価格(日)	+数%	+1桁半ば	+数%	+数%	横ばい	横ばい	横ばい		
		北米	数量	-1割弱	-約2割	+数%	+1割強	+10%台半ば	+3割強	-		
			価格	-1割弱	-1桁半ば	-1桁半ば	-1桁半ば	+数%	+約1割	-		
		欧州	数量	横ばい	-約2割	+数%	-1桁半ば	微増	+約3割	+1桁半ば		
			価格	-1割強	-2割強	-2割弱	-数%	+1割弱	+4割弱	+約4割		
	自動車用生産台数 (IHS Markit 9/16データより)	日本	数量	-7%	-48%	-12%	+4%	-5%	+54%	-19%		
		北米	数量	-11%	-68%	+0%	+0%	-4%	+132%	-23%		
		欧州・ロシア	数量	-17%	-60%	-7%	+1%	+1%	+84%	-21%		
	電子	ディスプレイパネル需要* (Omdia社)	グローバル	面積	0%	+5%	+12%	+7%	+17%	+10%	-3%	
市況実績値												
化学品	東南アジアクローリ	苛性ソーダ	価格	USD/MT	293	301	281	251	264	342	422	
			PVC	価格	USD/MT	845	703	883	1,143	1,367	1,437	1,363
			エチレン	価格	USD/MT	645	592	735	858	955	963	1,007

*Source : Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 2Q21 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

		IFRS				
		16/12	17/12	18/12	19/12	20/12
売上高	百万円	1,282,570	1,463,532	1,522,904	1,518,039	1,412,306
営業利益	百万円	96,292	119,646	120,555	101,624	75,780
営業利益率	%	7.5	8.2	7.9	6.7	5.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	47,438	69,225	89,593	44,434	32,715
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	4.3	6.1	7.7	3.9	2.9
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	4.8	5.7	5.4	4.4	3.1
自己資本比率	%	55	53	51	50	44
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.37	0.38	0.43	0.47	0.63
営業CF/有利子負債	倍	0.47	0.42	0.35	0.32	0.29
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	205.14	302.12	399.51	200.85	147.84
一株当たり配当金	円	90	105	115	120	120
EBITDA *4	百万円	195,767	249,880	259,425	231,857	208,459
為替レート (期中平均)	円/ドル	108.84	112.19	110.43	109.05	106.82
	円/ユーロ	120.33	126.66	130.42	122.07	121.81

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください。 https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

サステナビリティ “製品・技術”を通じて社会的価値を創出

重要機会

AGCグループの主な素材・ソリューション

気候変動問題への対応

建築用ガラス、グリーン冷媒、自動車用赤外線カットガラス、バイオマス炉材等

資源の有効利用

燃料電池用部材、リサイクル原料使用製品（ガラス・耐火物等）

社会インフラの整備

建築用ガラス、苛性ソーダ、次亜塩素酸ソーダ、重曹、塩ビ等

安全・快適なモビリティの実現

自動車用ガラスアンテナ、車載センシング・レーダー用部材、HUD部材等

情報化・IoT社会の構築

建物窓取付アンテナ、半導体製造用部材、ディスプレイ用ガラス、高速通信用部材等

食糧問題への対処

農薬原体・中間体、農業温室ハウス用フィルム等

健康・長寿社会への対応

医薬品原体・中間体、高速通信用部材、水処理用高機能膜等

社会的価値

関連するSDGs

持続可能な地球環境の実現
への貢献



安全・快適な都市インフラの実現への貢献



安心・健康な暮らしの実現
への貢献



サステナビリティ“健全な企業活動”を通じて社会的価値を創出

重要リスク

気候変動問題への対応

資源の有効利用

社会・環境に配慮した
サプライチェーン

地域社会との関係・
環境配慮

公正・平等な雇用と
職場の安全確保

AGCグループの企業活動

継続的な省エネ対策実施、GHG排出量を低減する生産技術・設備開発 等

再生原材料や再生資材の活用、埋立て処分の削減 等

人権尊重・環境保護を重視したサプライヤー管理 等

水使用量削減、生物多様性保全、環境事故撲滅、地域のファン作り 等

従業員エンゲージメントの向上、重篤災害・休業災害の発生防止 等

社会的価値

持続可能な地球環境の実現
への貢献

健全・安心な社会の維持
への貢献

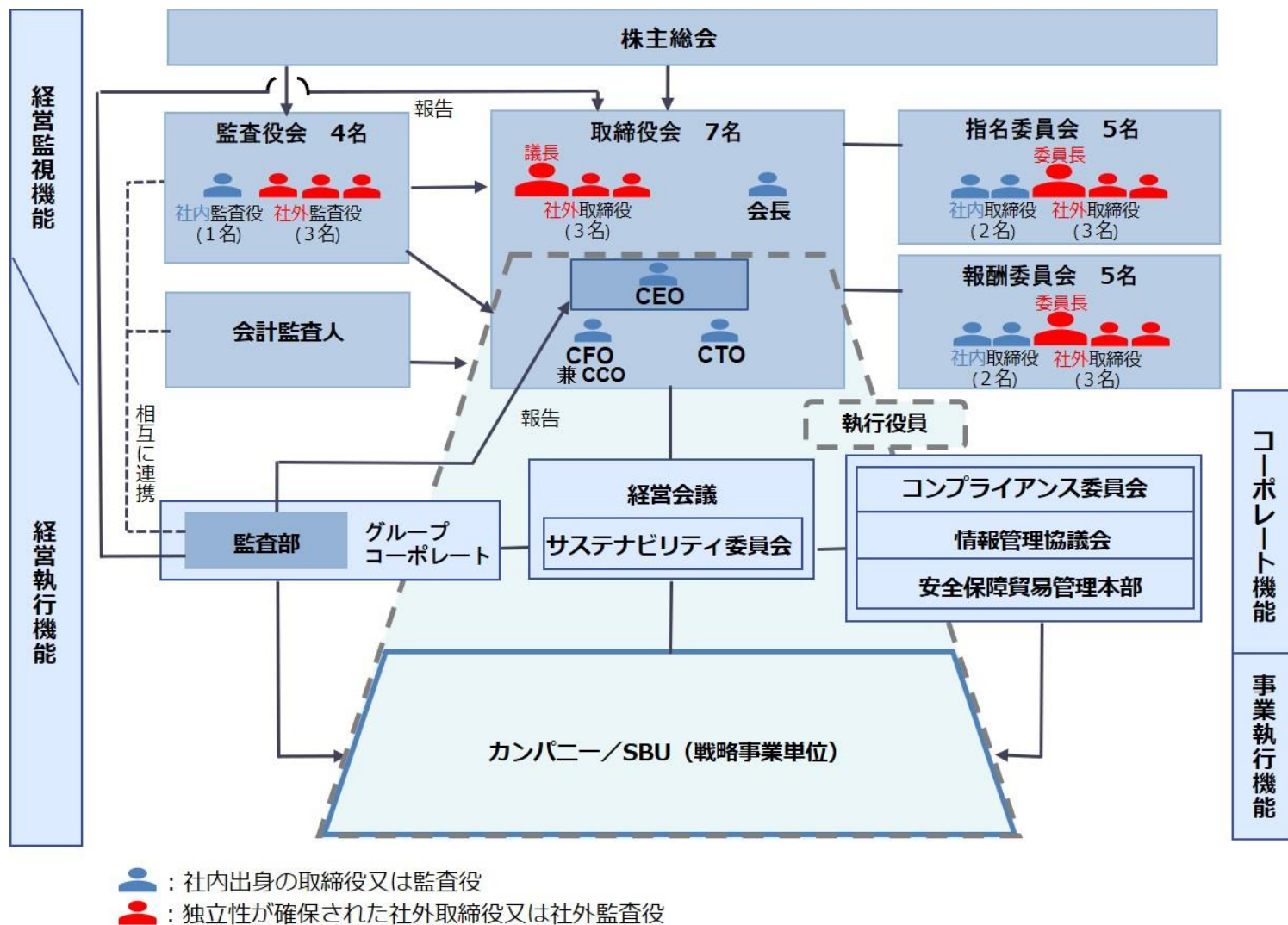
公正・安全な働く場の創出
への貢献

関連するSDGs



当社のコーポレートガバナンス体制

< 2021年3月30日からの体制 >



FTSE4Good Index Seriesに選定



FTSE Blossom Japan Indexに選定



女性活躍推進に優れた企業を選定する
「なでしこ銘柄」に昨年に引き続き選定



「日経スマートワーク大賞2021 審査委員特別賞」を受賞



「健康経営優良法人2021ホワイト500」に選定



EcoVadisサプライヤー評価で最高ランクを取得

鹿島工場 : 「PLATINUM」

千葉工場、AGC PharmaChemicals Europe社 : 「GOLD」

AGC Biologics Copenhagen社 : 「SILVER」



Derwent Top 100 グローバル・イノベーター 2021に選定

企業としてのデジタル化を評価され、
「DX注目企業2021」に選定

発表日	内容
1月14日	セントラル硝子株式会社との国内建築用ガラス事業統合に係る協議の中止に関するお知らせ
1月26日	メタサーフェス技術により窓ガラスの電波レンズ化に世界で初めて成功
2月5日	新たな経営方針、長期経営戦略および中期経営計画を策定
2月16日	AGC千葉工場、5Gを見据えてプライベートLTEネットワークを導入
3月3日	AGC Biologicsミラノ拠点、遺伝子・細胞治療CDMOの培養能力を増強
3月19日	インドシナ半島のクロール・アルカリ事業3社の統合再編を決定
4月12日	建築用ガラス事業の組織改正を実施
4月26日	原燃材料の自動管理システム「Smart Inventory System」を開発
5月25日	化学品プラントにデータ分析プラットフォームAlteryxを導入
6月8日	新型コロナワクチン向けプラスミドDNAの製造を受託
7月2日	AGC Biologics 社、米国における遺伝子治療薬工場の買収契約締結
7月15日	国内建築用ガラス関連製品の価格を改定
8月3日	北米建築用ガラス事業の譲渡完了に関するお知らせ
9月14日	AGC Biologics社、メッセンジャーRNAの生産設備を新設
9月30日	AGCが参加する世界省エネルギー等ビジネス推進協議会が策定したZEB普及のための技術仕様書がISOから発行



Your Dreams, Our Challenge

END

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。